

11/20 - 12/9



### 私は白鳥

[2021/日本/1時間44分] 監督:横谷茂博  
出演:白鳥撮影:澤江弘一 語り:天海祐希  
「私は人間の形をしていますが、自分は白鳥だと思っています。」2018年、翼が折れて富山に取り残された白鳥がいた。毎日エサをやり、仲間の白鳥と再会してほしいと願う、澤江弘一さん。そして訪れる奇跡とは。

12/4 - 12/10



### コレクティブ 国家の嘘

[2019/ルーマニア/ルンクセンプレク・ドイツ/1時間49分]  
監督:アレクサンダー・ナナウ  
巨大医療汚職事件に立ち向かう人々を捉えたドキュメンタリー。2015年ルーマニアのクラブで火災が発生し、一命を取り留めたはずの入院患者が次々に死亡。事件の背景には、製薬会社と病院経営者、政府関係者との癒着が隠されていた。

12/4 - 12/10



12/11 - 12/17

料金 / 大人 700円 / 高校生以下 500円

### アオサギとツル

[1974/ソ連/10分]  
監督:ユリー・ノルシュテイン  
互いに惹かれ合うアオサギとツルが、結婚の申し込みにしあいながらもすれ違い、意地を張り合う。日本の浮世絵・水墨画を参考制作。



12/10 19:00 上映

エルムス HUMAN ODYSSEY - それは、創造を巡る旅。 - / DIRECTOR'S CUT

[2021/日本] 総監督:奥山大史 出演:新城大地郎/井口理/高橋智隆 企画・制作:エルムス  
クリエイティブに向き合う7人の主人公が、日本各地へものづくりに出会う創造への旅路を、7つのエピソードの中から、Episode.1、3、4をディレクターズカットとして再編集し、全国ミニシアターで一夜限りの上映会を開催!

12/4 - 12/10



### サウンド・オブ・メタル 聞こえるということ

[2019/アメリカ/2時間]  
監督:脚本:メリナ・マダー 出演:リズ・アーメッド  
日常あたりまえに聞こえている“音”が突然、聞こえなくなる…。突如難聴に陥るメタルバンドのドラマーの主人公ルーベンが直面する状態を、観客がまるで彼になったかのごとく味わえる究極の擬似体験映画!

12/4 - 12/10



### 名もなき歌

[2019/ペルー・フランス・アメリカ/1時間37分]  
監督:脚本:メリナ・レオン 出演:パメラ・メンドーサ  
先住民のヘオルヒナは妊婦に無償医療を提供する財団を知り、クリニックで無事出産するが、娘を奪い去られてしまう。事情を聞いた記者のペドロは、乳児売買組織の闇へと足を踏み入れる。実際の事件を基に作られた、ペルー出身女性監督長編デビュー作。

12/4 - 12/10

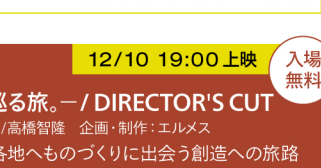
ジョゼと虎と魚たち  
[2020/韓国/1時間57分]  
監督:脚本:キム・ジングアン 出演:ハン・ジミン/ナム・ジュヒョク  
日本で実写映画化された田辺聖子の同名短編小説を韓国でリメイク。大学卒業を控えるヨンソクは、道端に倒れている車椅子の女性を家まで送り届ける。ジョゼと名乗る彼女に興味を抱いたヨンソクは度々彼女の家を訪れるようになるが…

12/11 - 12/17

料金 / 大人 700円 / 高校生以下 500円

### 話の話

[1979/ソ連/29分]  
監督:ユリー・ノルシュテイン  
世界アニメーション史上の名作と名高い最高傑作。幼少時の戦争体験などノルシュテイン自身の記憶を散り始めながらつづった映像叙事詩。



12/10 19:00 上映

エルムス HUMAN ODYSSEY - それは、創造を巡る旅。 - / DIRECTOR'S CUT

[2021/日本] 総監督:奥山大史 出演:新城大地郎/井口理/高橋智隆 企画・制作:エルムス  
クリエイティブに向き合う7人の主人公が、日本各地へものづくりに出会う創造への旅路を、7つのエピソードの中から、Episode.1、3、4をディレクターズカットとして再編集し、全国ミニシアターで一夜限りの上映会を開催!

連続講座 連日19時開映

## 現代アートハウス入門 ネオクラシックをめぐる七夜 Vol.2

料金 / 30歳以下 1,200円 / ほか一般 1,800円

「ネオクラシック (新しい古典)」作品を7夜連続日替わりで上映! 気鋭の映画作家たちによるトークの模様を参加劇場のスクリーンにライブ中継。さらに、全国の観客とのQ&A を交えながら、これからの「アートハウス」についての知見を共有しましょう!



第1夜 12/11 (土) クローズ・アップ

[1990/イラン/1時間39分] 監督:アッバス・キアロスタミ  
映画監督だと偽り詐欺で逮捕された青年の実話をもとに作られた異色作。

第2夜 12/12 (日) マッチ工場の少女

[1990/フィンランド/1時間9分] 監督:脚本:アキ・カウリスマキ  
何の変哲もない娘のどん底の人生を淡々と描き、真骨頂ともいえる一作。

第3夜 12/13 (月) 鳥の歌

[1995/ボリビア/1時間42分] 監督:ホルヘ・サンヒネス  
映画スタッフと先住民の価値観の違いから起きた対立と葛藤を描く。

第4夜 12/14 (火) セールスマン

[1969/アメリカ/1時間31分] 監督:メイズルス兄弟  
聖書の訪問販売員たちの旅にカメラは密着する。メイズルス兄弟のマスターピースを本邦初公開。

第5夜 12/15 (水) ビリディアナ

[1961/メキシコ・スペイン/1時間32分] 監督:ルイス・ブニュエル  
ハルム・ドール受賞の一方で、カトリック教会から非難を浴び、本国で上映禁止に至った問題作。

第6夜 12/16 (木) ある夏の記録

[1961/フランス/1時間30分] 監督:ジャン・ル・ジュ、エドガー・モラン  
街ゆく人々に軽量16ミリカメラと録音機が問いかける。あなたは幸せですか?

第7夜 12/17 (金) イタリア旅行

[1954/イタリア・フランス/1時間25分] 監督:ロベルト・ロッセリーニ  
結婚8年目、一見仲の良い夫婦は、実は破局寸前。離婚へと突き進んでいくのだが…。

12/11 - 12/17

場所はいつも旅先だった

[2021/日本/1時間18分]  
監督:松浦弥太郎 朗読:小林賢太郎  
雑誌「暮しの手帖」の元編集長などさまざまな肩書きを持つ松浦弥太郎が、世界5カ国・6都市を放し、各地で体験した出会いとかけがえのない日々を、飾らない言葉でエッセイ集のようにつづっていく。



## 濱口竜介特集

日本映画の新しい時代をリードする存在。いま世界が最も熱い注目を寄せる濱口竜介監督最新作公開記念特集!

12/11 - 12/24



12/18 - 12/29

ドライブ・マイ・カー PG12  
[2021/日本/2時間59分] 監督:脚本:濱口竜介  
原作:村上春樹 出演:西島秀俊 / 三浦透子  
映画史を書き換える新たな傑作の誕生! 妻が秘密を残したまま他界し、喪失感を抱え生きていた家福は、演劇祭で演出を担当することになり、そこで出会った専属ドライバーのみさとと過ごす中で、それまで目を背けていたあることに気づく。

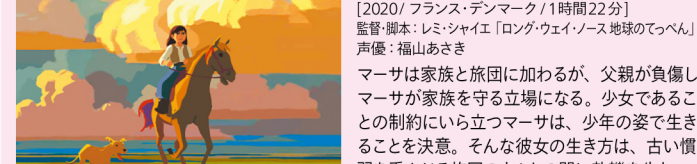
偶然と想像 PG12  
[2021/日本/2時間1分]  
監督:脚本:濱口竜介 出演:古川琴音 / 中島歩  
濱口竜介、初の短編集。親友同士の他愛のない恋バナ「魔法 (よりもっと不確か)」。大学教授に教えを乞う生徒「扉は開けたままで」。20年ぶりに再会した女友達「もう一度」。「偶然」をテーマに3つの物語が織りなされる。

12/30・31



ハッピーアワー 12/31 お粥+100円  
[2015/日本/5時間17分] 監督:脚本:濱口竜介  
演技経験のない4人の女性たちがカコルノ国際映画祭で最優秀女優賞を受賞した本作は、市民参加による「即興演技ワークショップ in Kobe」から誕生。どこにでもいる「普通」の女性たちが抱える不安や悩みを、緊張感あふれるドラマとして表現してみせた。

12/18 - 12/29



カラミティ〈字幕版・吹替版〉  
[2020/フランス・デンマーク/1時間22分]  
監督:脚本:レミ・シャイェ「ロング・ウェイク・ソース地球のてっぺん」  
声優:福山あさき  
マーサは家族と旅団に加わるが、父親が負傷しマーサが家族を守る立場になる。少女であることの制約にいら立つマーサは、少年の姿で生きることを決意。そんな彼女の生き方は、古い慣習を重んじる旅団の人々との間に軋轢を生む…。

夕方こどもシネマクラブ 12/29 (水) 12:30 ~ 上映+40分 料金 / +500円  
劇場スタッフがお客様をお預かりします!

12/11 - 12/17

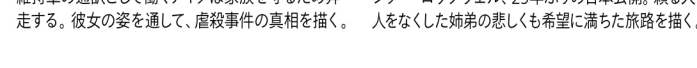


12/25 - 1/14

12/25-29のみ boid sound

アイダよ、何処へ? PG12  
[2020/ボスニア・ヘルツェゴヴィナ・オーストラリア・ルーマニア・オランダ・ドイツ・ポーランド・フランス・ルウェー・トルコ/1時間41分] 監督:ヤスミラ・ジバッチ  
1995年、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ紛争の中で起きた大量虐殺事件「スレブレニツァの虐殺」、国連平和維持軍の通訳として働くアイダは家族を守るため奔走する。彼女の姿を通して、虐殺事件の真相を描く。

12/25 - 1/14



スウィート・シング  
[2020/アメリカ/1時間31分] 監督:脚本:アレクサンダー・ロクウェル  
出演:ラナ・ロクウェル / ニコ・ロクウェル  
宝物みたいな1日だった。ジム・ジャームツィシュらとともに米インディーズの雄として一世風靡したアレクサンダー・ロクウェル。25年ぶりの日本公開。頼る大人をなくした姉弟の悲しくも希望に満ちた旅路を描く。